

記 号	
在京	3
1957.11.25	

取扱注意 ※

国際理論物理学会議組織委員会 在京委員会第3回会合記事

日 期：1957年12月18日(木) 17時〜20時

場 所：日本学術会議、第2会議室

出席者：藤岡、茅、小谷、武藤、佐藤、朝永、山内、本田各
委員

(特別出席者) 龜山会長

(事務局) 吉田、木村、肥後

議 題：1. 委員の追加

2. 外国との往復文書に関する報告

3. 滞日日程の各行程に随行する日本人の日程につ
いて

4. 各学会との連絡

5. 寄付金に関する協議

6. 58年度予算査定見込額

7. 招請者に旅費補助を仮に割当てること

※ この資料には寄付その他のことか委員外に広く知れると都合の悪い事項が含まれておりますから、この記事の内容について外部への御発展は十分慎重にお願いします。

死	事
在	京
3	
1952.12.25	

1. 委員の追加

(1) 日本交通公社外国部長吉本元輔氏

委員に委嘱することを決定

(2) 国際文化会館事務理事松本重治氏

今後種々の面で国際文化会館の援助を必要とすること、又先方もこの国際会議について援助する意思のあること等の点について本田総長から説明があり、協議の結果、藤岡委員長が一度松本氏に会って話をきいてから決定することに一致。

2. 外国との往復文書に関する報告

(1) 事務局から次の通り最近の着信・発信及び発信起草中のものについて報告があった。

(a) Fraser (ICSU Administrative Officer) から、ユネスコの補助金が10,000ドル確保されたこと (12.9付)
(配布資料 117. 17-1)

(b) Fleury (IUPAP事務総長) から

a. 会長あて (12.18付) (配布資料 119) 参加通知

a. 藤岡委員長あて (12.18付) (配布資料 119)

i) ユネスコ補助金が10,000ドル+3000ドル (出版) と決ったこと。

ii) 旅費補助の一回配分を行ってその結果を知らせるべきこと。

[註] Matt 会長あて配分についての相談の手紙 (配布資料 119) の写を送った。 (12.28付)

iii) Wheeler が自分の旅費がまだ多少しか調達の見通がつかっていないといつて来たこと。

[註] Wheeler の旅費の多に当る700ドル位を上回った Matt あての手紙の配分案に含めた。

IV) IUPAP 執行委員の出席見通し。

Matt, Slater, Wheeler は来る。

Amaldi, Huber は多分来る。

Millikan Liegbahn は多分来ない。

Borliovs は旅費調達の困難を訴えている。

Heyrowsky Krishnan Olijphant は未回答だが Krishnan と Olijphant は多分来る。

V) Amaldi Krishnan Olijphant に対しては正式に執行委員会への招請状を出す方がよい。又 Borliovs と Heyrowsky へも同様出してもよいかも知れない。

(註 執行委員会開催期日について Fleury に相談せよ決定の上出す。)

vi) 執行委員会の期日を決めて知らせたい。

[註] Fleury あての手紙に15月15日及び16日(平日)又は15日・17日(共に全日)の何れかよいか質問。

vii) Fleury 自身の講演題目は *Quelques récents*

progrès en optique。(フランス語でしたいが、下手とよければ英語でもよい。)

(8) Bardun Butter green Hermann へ

前回の決定に基づき正式招請状を出した。(12.10付) (配布資料 118)

(9) Slater (本国々内委員長) へ

経過報告 (12.28付) (配布資料 121)

(10) Matt Coulson, Prigogine から

各自講演題目の通知 (配布資料 112~113)

(11) Møller (補助なし招請者) へ

旅費補助に関する依頼に対して多分応じられる見通しである旨の回答 (12.28付) (配布資料 126~127)

(12) Hylleraas (ノルウエー国内委員長) へ

記 書
在 来 3
1952.12.25

- ・ 上と同様の依頼に対し、十分考慮する旨の回答 (12.27付)
(配布資料 101-6-1)
- (k) メキシコ・イタリア・スペイン各国内委員長へ
国内会議開催案内状受領通知に対する挨拶 (配布資料 101-2-1, 101-5-1, 101-7-1)
- (け) Scitz へ
Bardeen の推薦を受け入れた旨の通知 (12.8付) (配布資料 4-1-1)
- (こ) Marshall から
旅費関連の見込のついた旨の通知 (12.9付) (配布資料 10-1) 及びその受領挨拶 (12.9付) (配布資料 10-1-1)
- (こ) Shackley へ
不参加通知に対する受領挨拶 (12.7付) (配布資料 85-1)
- (し) Anger (UNESCO 自然科学部長) から
参加通知 (12.29付) (配布資料 91) 及びその受領挨拶 (12.8付) (配布資料 91-1)
- (す) Taylor (UNESCO Acting Director - General) から
前 Director - general Bodet への招請状受領通知 (12.7付) (配布資料 92) 及びそれに対する挨拶 (12.8付) (配布資料 92-1)
- (せ) Wang (Head, Division of International Scientific Co-operation, UNESCO) から
不参加通知 (12.17付) (配布資料 93) 及びそれに対する挨拶 (12.27付) (配布資料 93-1)
その後、藤岡委員長の指示を発信した手紙は、
- (そ) Matt (IUPAP 会長) へ
UNESCO - Rockefeller 補助金 1/4 回配分案についての相談 (12.27付) (配布資料 120)
后出 7 項参照

12) Mpller その他に対する旅費補助について

このうち Mpller からの旅費要請に実連して、UNESCO の補助が 10,000 円と決った以上旅費補助付の枠を幾分抜けてこれらの要請にある程度応ずることが可能の見通しとなったが補助対象の新規追加については、要請に応じて無計画な配分は、すべきではなく、一定の方針、基準を定めて公平に配分することを申合せた。

13) Borelius に対する旅費補助について

Fleury からの連絡で、IUPAP 執行委員の一人 スミエーデン の Borelius が旅費の不足のため来日の見通がつかない様子であることについては、同氏が金属物理学に縁が深い点から金属学会に申し入れたら、或は同会で旅費の不足分の関連の面倒を見るかも知れないとの意見が出て、一応金属学会の意向を叩いて見ることを了承。

14) Landau に対する連絡について

Heitler (スイス) に Landau に対する連絡を依頼すること、及び今までの経緯を Matt IUPAP 会長に報告することが議せられたが、結局 Fleury 事務総長に報告し、連絡を依頼することが最も正道であることが認められた。

(注. 以上の事項は 1 (ii) の Fleury あての手紙に含めた)

3. 滞日日程の各行程に随行する日本人の人数について

前回会合の折、決定を見なかつたこの問題については、一応 10 名位としておき、予算、寄付の見通がについて再改めて検討することを中心。

4. 各学会との連絡

来日物理学者の各地の講演について、学会主催の講演会を開くことについて関連各学会の希望を予め照会する案に対しては、講演に関する照会の形式を取らず、協力依頼状の形として、会

議参加の未日学者のリストを添えれば講演を積極的に希望する
向きは先方から照会して来ることが予想されるということが認
められた。

5. 寄付金に関する協議

等委員から、有力な財界人の後援者グループを作ることに
某財界人と会談した模様について報告があった。同氏は関係者と
協議の上何分回答する旨の探撈をした由である。又意見として各
新聞社を他の会社等と同様に募金の対象と考へるべきことを主張
した模様で別口として先に新聞社だけに物さかけることに対す
る制約となる新しい見方として注目を引いた。

6. 88年度予算査定見込額

肥後司計課長から要求予算について項目別に成否の見通の説明があ
ったが絶対承認の見通乃至自信のある項目及び額を通計すると大
体650万円、それ以上は上首尾に行つて500万円程度である
旨付言があった。

7. 招請者に旅費補助を仮に割当ること

Matt IUPAP 会長に各招請者への割当を1,000ドルとする案と
1,200ドルとする案の2つを提示して意見を質すことに決定。
一任された委員長のもとで起案されたものによると、
A案は各招請者に一応1,000ドルづゝ配分、各国内委員からの推
薦参加者に対し、300ドルづゝ10人分を予定することを骨子
とし、その他 Fröhlich, Perrin, Müller, Whaler 等にも部
分的補助金を出して、保留予備金を1870ドルとした。
B案は各招請者配分額を1,200ドルとし、他の部分的補助金の額
も増額して、各国内委員会推薦参加者の分は500ドルづゝ3人
保留予備金を500ドルとした。